

# さらば箱舟

寺山修司監督作品



## —年譜と主な作品—



# 寺山修司

- '35年12月10日、青森県弘前市に生まれる。
- '54年早稲田大学教育学部国文科入学(後、中退)。「チエホフ祭」にて第2回短歌研究新人賞。
- '59年16%映画「猫学—キャットロジ—」を演出。
- '60年「血は立ったまま眠っている」を劇団四季にて上演。篠田正浩の映画「乾いた湖」の脚本。
- '62年16%映画「檻」を監督。
- '63年●評論集「現代の青春論」
- '64年放送叙事詩「山姥」にてイタリア賞グランプリ。
- '65年放送叙事詩「犬神の女」にて第1回久保田万太郎賞。テレビインタビュー「あなたは」にて芸術祭奨励賞。
- '66年●歌集「田園に死す」●評論集「戦後詩にて上演。放送叙事詩「コメットイケヤ」にてイタリア賞グランプリ。テレビドキュメンタリー「おはようインディア」にて芸術祭放送記者クラブ賞。
- '67年演劇実験室「天井桟敷」設立、「青森県のせむし男」「大山デブコの犯罪」「毛皮のマリー」を公演。松本俊夫の映画「母たち」の脚本。放送叙事詩「まんだら」にて芸術祭賞。
- '68年「新宿版千一夜物語」「書を捨てよ町へ出よう」を公演。羽仁進の映画「初恋・地獄篇」の脚本。ラジオドラマ「狼少年」にて芸術祭奨励賞。
- '69年演劇実験室「天井桟敷」地下劇場落成。「時代はサーカスの象にのつて」を公演。ドイ演劇アカデミーの招いで国際演劇祭EXPERIMENT3に参加。
- 評論集「アメリカ地獄めぐり」
- '70年密室劇「ガリガリ博士の犯罪」市街劇「人力飛行機ソロモン」を公演。ロック「エラー財団」の招きで渡米、ラマックにて「毛皮のマリー」を演出。篠田正浩の映画「無頼漢」の脚本。
- 評論集「幸福論」●小説「ああ荒野」
- '71年ナンシー国際演劇祭に参加、「邪宗門」「人力飛行機ソロモン」を公演。パリのレ・アル、アムステルダム、メクリ劇場にて「邪宗門」、オランダのソルビエ美術館の招きで、オランダのソルビエ美術館の招きで、「邪宗門」を公演。ベオグラード国際演劇祭の招きでユーゴスラビアにて「邪宗門」を公演し、パリのシアターレレイユと共にグランプリ。映画「書を捨てよ街へ出よう」にてサンレモ映画祭グランプリ。16%映画「トマトケチャップ皇帝」にてツェロロ映画祭審査員特別賞、カンヌ映画祭監督週間招待。16%映画「ジャンケン戦争」を演出。
- 「寺山修司全歌集」●評論集「地下想像力」
- '72年ミュンヘン・オリンピック芸術祭展示に招かれ野外劇「走れメロス」を上演。デナム・オデンシアターの招きで「邪宗門」及び市街劇ワークシヨップ。オランダ・メクリシアターで密室劇「阿片戦争」を公演。
- 「寺山修司詩集」●評論集「言語が眠るとき、かの世界が目ざめる」
- '73年街頭劇「地球空洞説」を公演。ベルセポリス・シラーズ芸術祭の招きでイラン・遠征「ある家族の血の起源」を公演。オランダのメクリシアター及び、ワルシャワ・プロツクフなどで「盲人書簡」を上演。
- 映画評論集「映写技師を射て」●散文詩集「棺桶島を記述する試み」
- '74年映画「田園に死す」にて芸術選奨新人賞、ベルギー、パリス、ベナルマデナ各映画祭審査員特別賞。16%映画「ローラ」にてベナルマデナ映画祭特別賞、ベルリン映画祭特別上映。16%映画「蝶服記」にてカンヌ映画祭監督週間招待。16%映画「青少年のための映画入門」を監督。
- エッセイ集「花嫁化鳥—日本呪術紀行」●評論集「地平線のバロール」
- '75年オランダのメクリシアターの招きでオランダ、西ドイツで「疫病流行記」を巡演。16%映画「痲瘋譚」「審判」にてベナルマデナ映画祭特別賞、ベルリン映画祭特別上映。16%映画「迷宮譚」にてオーバーハウゼン実験映画祭銀賞、カンヌ映画祭監督週間招待。
- エッセイ集「青蛾館」●写真集「犬神家の人々」
- '76年パリ・フェスティバルオートンヌの招きで私人俳優のためのワークシヨップ。「阿呆館」を東京・イランにて公演。
- 演劇論集「迷路と死海—わが演劇」●対談集「密室から市街へ」
- '77年「バルトックの中国の不思議な役人」を公演。映画「ボクサー」を監督。16%映画「マルドロールの歌」にてリール映画祭国際批評家賞。16%映画「二頭女—影の映画」にてベナルマデナ映画祭特別賞、ベルリン映画祭特別上映。16%映画「消しゴム—一寸法師を記述する試み」「書見機」を演出。
- 対談集「火と水の対話」
- '78年オランダ・メクリシアターの招きでオランダ・ベルギーなどの各都市、及びロンドン・リバーサイドスタジオの招きでイギリスにて「奴婢訓」を上演。「身毒丸」「観客席」を公演。東陽一の映画「サード」の脚本。
- 写真集「寺山修司の仮面画報」●小説、戯曲「奴婢訓」
- '79年「犬の政治学」を公開ワークシヨップ。「レミング—世界の涯まで連れてつて」を公演。「奴婢訓」をイタリア公演、ローマ・スポレト芸術祭参加。国際児童演劇祭にて「こども狩り」を上演。魔術音楽劇「青ひげの城」を公演。羽仁進の映画「アフリカ物語」の脚本。映画「草迷宮」を監督。
- '80年映画「上海異人娼館」を監督。
- シナリオ集「19歳のブルース」
- '81年「81版観客席」を公演。
- エッセイ集「不思議図書館」●評論集「日蝕機関説」
- '82年「レミング—壁抜け男」を公演。映画「さらば箱舟」を監督。
- '83年5月4日午後0時5分、死去。